

〈参考〉MaaSに関する両社の取り組み

【JAL】

JALは、「世界中のヒト・モノ・コトの距離を縮め、豊かな社会を実現する」ことを目指し、シームレスな移動・輸送を実現する、総合エアモビリティサービスの実現に向けた取り組みを進めています。

誰もが安心して、シームレスに移動できる社会の実現を通じて、お客さまの移動そのものの価値を高めると共に、移動に対する制約やハードルを解消し、日本経済発展の一助を担うべく取り組みを推進していきます。



【JR 東日本】

グループ経営ビジョン「変革 2027」において、移動のための検索・手配・決済をお客さまにオールインワンで提供する「モビリティ・リンケージ・プラットフォーム」を構築し、「シームレスな移動」「総移動時間の短縮」「ストレスフリーな移動」を実現することを目指しています。

これにより、お客さまが24時間、あらゆる生活シーンで最適な手段を組み合わせるサービスを利用できる環境を実現します。

